

人間研究学域の卒業論文テーマ（例）

文学部での学びの集大成として、先輩たちが取り組んできた卒業論文のテーマの一部をご紹介します。多様なテーマが示すように、文学部では自らの興味・関心をもとに研究テーマを決め、学びを深めていくことができます。

哲学・倫理学専攻

・ジョゼフ・バトラーにおける良心論について
・ショーペンハウアーにおける生と自殺についての考察
・ニーチェ「永劫回帰」の解釈可能性について
・フッサール現象学における受動的綜合
・『存在と時間』における現存在の本来性について
・純粹・二義性・批判——初期ベンヤミンにおける言語と暴力の問題
・女性的なものの共同体——リベラリズムを模倣する倫理的フェミニズム
・エヴァ・キテイによるドゥーリア・モデルについての考察
・生きがいとしての「遊び」——有用性の外にある人間らしさ
・内臓の身体論的展開可能性

教育人間学専攻

・ESDにおいて実存から社会問題を問うこと—フランクルの「意味への意志」の概念を手がかりに
・「非行・犯罪の背景としての発達障害」という見方—新聞記事における登場と広がり
・水子供養にみる日本人の死生観と子ども観
・老婆たちはどう生きるか—『ハウルの動く城』を手がかりに
・協働／協同的な学びがもたらす教室の在り方—少人数学級と「少人数での学習」に着目して
・高校野球における勝利至上主義について—新聞記事から見る勝利至上主義の語られ方
・描画によるコスモロジーの理解—学校教育を通しての自他一体感形成の可能性
・学校現場におけるジェンダー・バイアスについて
・ネガティブな感情を抑圧することが身体に与える影響について
・自己肯定感の再考
・長文の視聴覚同時呈示による理解度への効果
・絵画鑑賞者における具体/抽象の判別基準：その共通性および差異の実証的検証